

平成24年度 福祉一行詩コンクール入賞作品

福祉」をテーマにした一行詩の募集に、たくさんのご応募ありがとうございました。
応募総数1,190点の中から入賞した作品をご紹介します。

原文のまま掲載

特選

デイサービスのボランティアに参加したよ。
お年寄の笑顔がまぶしかった。

権木 幹也 (昭和小学校6年)

孫よ! 「バリアフリーってなあに」
それはね、人を思いやる優しい心のことだよ。

和田 好平 (一般)

入選

ありがとういわれた相手も自分も
気分はばっかばっか

猪飼 尚輝 (養正小学校5年)

「おはよう」「ありがとう」
たった一つの言葉で地域の輪、つながるよ。

伊藤 端哉 (養正小学校6年)

「どうしよう」
迷っているなら手をさしのべてみて

肥田 彩加 (滝呂小学校6年)

地域の人から「おかえりなさい」
疲れていても思わず笑顔

岩元 成葉 (南ヶ丘中学校3年)

「ありがとう」気持ちを伝える 愛(合)言葉

小川 真由子 (南ヶ丘中学校2年)

「こんにちは」「ありがとう」私は言い続けます。
世界中が、この言葉であふれるまで・・・

小松 円香 (多治見中学校1年)

いじめはね 小さな戦争
やめようよ 大きな被害 できる前に

岩井 海渡 (南ヶ丘中学校2年)

「ごみ拾い」拾うと
町も人の心もきれいになるよ。
町にも優しく人にも優しく。

須田 康文 (昭和小学校6年)

優しい心に出会うたび 私の心が温まる
ボランティアに 参加の私癒されて!

伊佐治 幸枝 (一般)



佳作

おはよう・こんにちは 少しのはずかしさと
たくさんのうれしさが 広がった

田牧 由衣 (養正小学校6年)

地域の人 いつも見守っていてくれる
こんどは私たちが見守ろう

坂田 萌美 (養正小学校6年)

小さな小さな思いやり
きっとだれかに伝わるよ
きっとだれかの役にたつ

倉島 萌々 (共栄小学校5年)

1才の時にいただいたやんが手を貸してくれた、
今、ぼくが手を貸している。

川地 功起 (昭和小学校6年)

今日もももだちあしたもももだち
いつてもももだちどこてもももだち
大人になってもももだち

中川 諒真 (滝呂小学校4年)

あたたかい 言葉から伝わる
あなたの気持ち

白水 野乃華 (脇之島小学校4年)

「手伝います。」
その一言で 広がる心の輪

森山 美咲 (南ヶ丘中学校3年)

「頑張って」より「頑張ろう」が嬉しいね

深津 華平 (南ヶ丘中学校3年)

お年寄り、障害のある人を助けるぞ。
そんな意識なくても自然と
行動できるようになりたいな。

林 将啓 (南ヶ丘中学校3年)

「ありがとう」の一言で、幸せという名の花が咲く。
みんなで咲かせよう、「幸せの花」

大嶋 果蓮 (多治見中学校1年)

「ゆずり合い」
少しの勇気で、心の壁をなくしたよ。

横井 友香 (小泉中学校1年)

声かけ合えば、笑顔がたくさん見えてくる。
だれでも笑顔で助け合い。

大谷 真奈花 (小泉中学校1年)

きっぷ売場ではおばあさんの後ろに並びます。
優しさも一緒に並びます。

加藤 凛 (東濃フロンティア高等学校)

